１５回論述回答例（音声解決は別にあります）

問１回答(骨子)

現在働いている幼稚園の仕事ではしっかりした仕事が認められ正社員にならないかとありがたいお誘いがあるが、英語を使う仕事への憧れが諦めきれず、どちらが一番よいのか分からず迷っている。　　89文字

問１：最終回答(必要な言葉を追加、調整)

3年働いて来たパートの幼稚園の仕事ではしっかりした仕事が認められ正社員にならないかとありがたいお誘いがあるが、大学時代から目指していた英語を使う仕事にいまから就くのは難しいと思うが諦めきれず、どちらの仕事に就くのがいいのか迷って決められない。

120文字

問２　回答

次の2つの問題があると考える。１）憧れに引きずられて、仕事が認められ正社員になるという現実の大きなメリットを本当に受け止められていない（現実認識不足）。２）英語は憧れであり、本気で仕事に就こうとの自分の力が不足していることを認識できていない（自己理解不足)。　　127文字

問３回答

目標

相談者の迷って決められない問題を解決(最終的な目標)する為には、その原因になっていると考える問２で上げた2つの問題をまず解決することを第一の目標にする。この第一の目標が解決できればおのずと相談者の決められないという問題の解決に近づくと考える。

120文字

具体的な方策

次の５つのステップを順に具体的に相談者と一緒に考え進める。

1. 相談者の認識・意識を変えるためにまずは相談者の良い点を認め相互信頼を築く。
2. 幼稚園での仕事と評価を振り返り、自分の適性に合っているのではないか見直す。
3. 英語に関しては、この３年間の勉強と就職に対する実績と意欲を客観的に見直す。
4. 以上の結果、幼稚園と英語の仕事の適正、就職の難易度等をマトリックス比較する
5. この比較表を注意深く考えてもらい、総合的にどちらがよいか判断できるように支援

**論述を解く（正しい回答）には７つの鍵のまとめ**

1. 問１から問３の関連性を一貫性に変える
2. 問１は、時点とキーワードを厳格に
3. 問２を正解する為の４つの条件

・直感的におかしいと感じるもの複数拾う

・CLが言っていない、触れていないこと

・相談の問題の解決につながること

・回答は複数を箇条書で、何故と専門用語附加

1. 目標は最終目標と第一目標（中間）で考える
2. 第一目標はCCから見た問題（問２）の解決で
3. 具体的施策は１行説明で残り５行で具体的に
4. 「あなたの具体的」がキーワード。概念的はNG

以上